

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

2015

8

はじめよう!

6月21日から、佐賀県地域共生ステーション連絡会(佐賀県宅老所連絡会)の事務局を本会が担っています。法人会員数80団体事業所数は114箇所となっています。平成11年から始まり、佐賀県地域共生ステーション事業として県の施策とも連携が図られています。

介護保険が始まる平成11年に会が発足し、その後、平成15年から佐賀県独自のインフォーマルサービスの基盤整備として、地域共生ステーションが整備されてきました。オール介護保険の経過の中にあって、他県に類がない佐賀県独自の画期的な事業といえます。地域共生ステーション事業は、よく言えばとても先駆的であり、逆に制度との相合せがとても難しい、早すぎた施策にも受け取られがちです。しかし、介護保険事業の常識の中で、あえて県レベルの施策が介護保険と歩みを同じにしたことは、今後の地域での取り組みの財産となっていくのではないかと考えています。

日本の多くの地域で、継続的な人口減が進む中、75歳以上の後期高齢者の数は増え、逆にそれを支える担い手は減っていきます。高齢化に備え介護保険を用意したのと同じように、今度は人口減や担い手不足へ対応する施策になるべく早く取り組むことが必要になります。その備えの一つとして今回の介護保険が大きく舵を切られています。行政・市民・事業者が「目指す地域像」について話し合うが現状ではないでしょうか。将来の危機に備え、これまでの発想を転換し、行政・市民・事業者が「目指す地域像」について話し合う場、新しい施策が求められています。佐賀県が独自施策を早期に実施してきたことと同じように、今後は市町村レベルにおいても、全国一律の給付サービスという考え方から一部脱却し、独自事業の創出が必要な課題になっていくことでしょう。

すでに独自事業に取り組んできた県の実績と、共生ステーションの理念に賛同した多くの実践者が今後取り組まれていく地域支援事業を後押しする社会資源になっていくことを大いに期待し、その推進の役割を担えればと思っています。

理事長 江口 陽介

CONTENTS

事業所の行事より	P 2
ゆめくれよん+ 取材報告	P 3
研修報告 講師 中尾朱実氏	P 3
現場で働くスタッフの声	P 4
3月～5月 活動実績	P 5
さが福祉移動サービスネットワークより	P 5
4月～6月 会の動き	P 6
避難訓練報告	P 7
交通安全教室(佐賀新聞より抜粋)	P 7
グループ事業所案内	P 8
ICTサポートセンターより	P 8



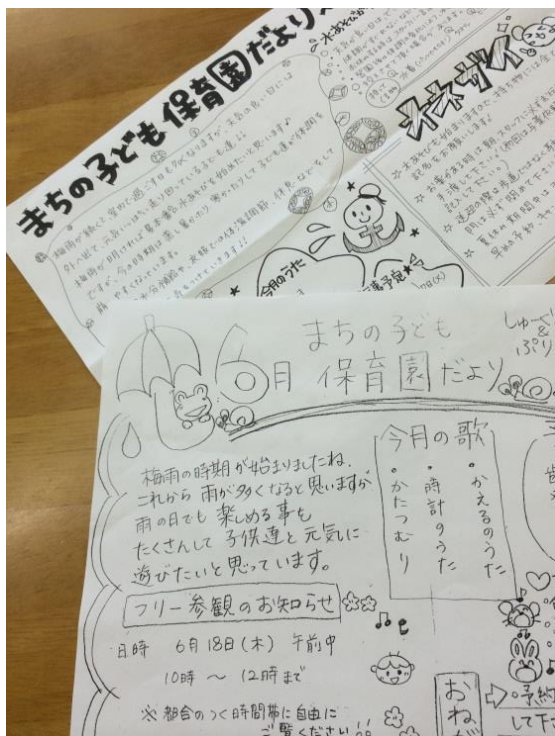
研修会風景(事務局会議室)

市民生活支援センター
ふくしの家



小規模保育事業 (まちの子ども保育園) を開始して約 4 ヶ月が過ぎました

先日、初めてのフリー参観を行い保護者の方々に園での保育を見ていただきました。



いつもと違う状況に始めはキョトンとした表情の子ども達でしたが、すぐにいつもの調子に戻り園での生活を始めました。

制度が始まったばかりで試行錯誤の日々ですが、より良い保育環境と子ども達の健やかな成長、また、保護者の方々のサポートができるよう頑張っていきたいと思います。

恒例の「母の日」の昼食のお祝膳は海鮮丼。カーネーションにスタンプからのメッセージカードを付けて：午後からはゲーム等のレクリエーションで楽しんで頂きました。

5月8日 母の日

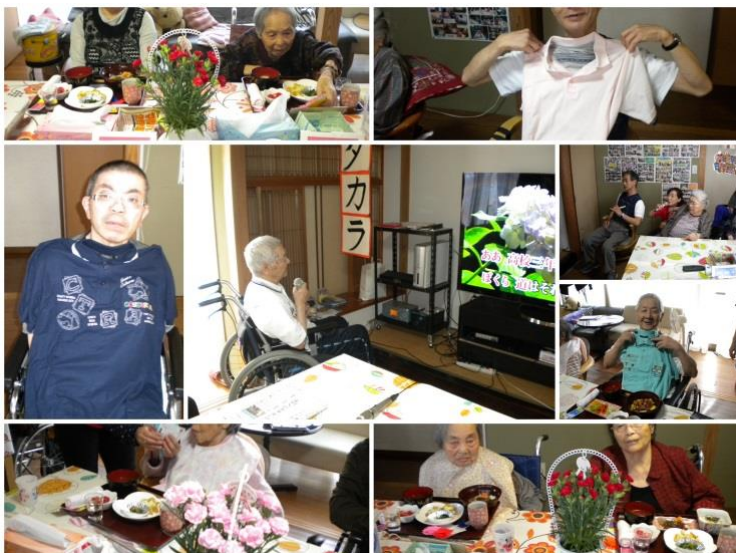
6月19日 父の日

母の日に比べると、ちよつと地味な「父の日」ですが、今年のひかりの父の日は超豪華版でした！昼食のお祝膳はうな丼。男性3名にはポロシャツのプレゼント。午後からはカラオケ大会となり、大いに盛り上がりました。

(ひかり管理者 金子)



とうもろこしごはん
おいしいよね



5月はテラスでBBQ!
6月の外食デーは「すたみな太郎」でお肉～



5月25日 交流会

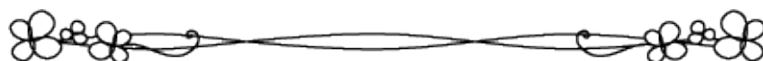
恒例となったまちのホーム医大前とまちのホームひかりの皆さんとの交流会を行いました。今回は、ゲームの他に医大前スタッフの紙芝居を見せて頂きました。皆さん、遠い？昔を思い出されたようで、真剣に聞き入っておられました。



佐賀新聞社から取材に来所

6月30日、ゆめくれよん+で行われた Excel 基礎教室の開催中に佐賀新聞社より取材がありました。ゆめくれよん+では Excel 等の操作を勉強する際に、なるべくツールバーを使って基本を習得していただき、その他の方法として、右クリック操作や両手でのキーボード操作も知っていただくように勧めています。

今回の教室では半身麻痺により片手でパソコンを操作される方も参加されており、佐賀新聞の取材ではリーダーの ICT ボランティアさんや受講者さんが「障害者の社会参加や自立を目的にした ICT 教室に参加することは今後の生活にとても役に立つと思う。」「障害者が頑張っていることを多くの方にも理解してほしい。」等、お話されていました。



ゆめくれよん+ではボランティアのスキルアップ勉強会を開催予定です。Word・Excel の応用から手話・音声読上げソフトなど、いろいろな障害をサポートできるよう対応しています。

内部研修報告

平成 27 年 6 月 18 日 / ふくしの家事務局会議室 / 18:00~19:30

「予防医療アロマテラピーサロン Viss」代表の中尾朱実さんを講師にお迎えし、ふくしの家 内部研修を行いました。

内容は ◆企業が求める人材とは◆ビジネスマナー◆就業中のルール◆基本的な挨拶

◆コミュニケーションの要素◆表情・言葉づかい・挨拶・敬語◆ホウ、レン、ソウ◆電話応対

- ・相手に対して思いやる気持ちは自分達介護職員としても必要不可欠であり、今後も大切にしたい。(末次竜)
- ・コミュニケーション能力を高める為に相手の心に届く様に自分の思いを一生懸命伝える。(山口三枝子)
- ・介護の知識だけの人材ではなく「知識+技術+礼節+人格」等を併せ持った人材が必要だと実感しました。



「仕事」が単なる「作業」にならないよう明確な目的意識を持つ事の大切さ、理解していても実践しなければ何の意味も持たない…少々耳が痛くなるように尚且つ有意義な研修会でした。(金子泰三)

- ・自分が人とどう接しているのか? もし指摘があれば素直に認め反省しどうすれば良いのかを考え、それが出来た時は頑張った自分をほめてあげる。中尾先生の話聞き私もたまには自分をほめてあげても良いのかと少し肩の力が抜けて笑みがこぼれました。(野口洋美)

- ・言葉使いとお辞儀の仕方で相手の方にどれだけ気を使い、気配りしているか 態度に出ると思うので自分の感情で動いてはいけないと反省しました。(岩松わか子)



ふくしの家では今年度より、年 3 回の予定で講師の先生をお招きしスタッフのスキルアップを図っています。各事業所からの希望も取り入れて研修内容と先生を決定しますので、事業所によってはあまり関連のない内容となる場合もありますが、他分野のお話を聞くこともあながち無駄なことではありません。

次回開催はてんかんを正しく理解するために「日本てんかん協会佐賀県支部」代表である小児科医の鶴澤礼実医師をお迎えする予定です。てんかんという病気があるわけではなく、脳の神経が一時的に過剰に活動し意識障害やけいれんなどの発作を繰り返す病気の総称である。ということも、あまり知られていないかもしれませんね!

入社して3年目

まちのホーム循環 山田 聖子

私は、ふくしの家に入社して3年目になりました。

入社する時は「人が好き」「色々な人達と接したい」という思いで入社しました。今でもその思いは変わっていません。が、入社する前と今との考えの違いが出てきました。それは、私が人と接したいという思いは変わりませんが「反対に利用者さんにこの施設に入所して良かった。」と思ってもらいたいという思いがプラスされました。それにつけ加えて、もし私の両親が認知になった時等のことを考えると、色々な施設がありますが、それよりも自分の家みたいな生活の出来るこの「ふくしの家が良い!」と思いました。

まだまだ介護という職について3年目です。奥の深い仕事だと思っています。一生懸命頑張っていきたいと思っております。これからも宜しくお願い致します。

佐賀市保育従事者研修会に参加して

まちの子ども保育園 高岸 真生

『人権問題』についての研修では手話を交えたお話で、以前手話を習った事のある私はすごく興味を持って聞く事が出来ました。また「子どもは親の背

中を見て育つ」とよく言われますが、私達保育者も同じように子ども達の見本となる為にも自分の行動に責任を持って接していこうと思いました。そしてたくさんさんの笑顔で子ども達と接する事で少しでも「この園・託児所に来て良かった」「この先生に出会えて良かった」と思われるようにしていきたいです。

『子どもの話を聴く時は』の詩も本当に共感する事だらけで「あんな所がいけなかったな」「こんな風に接しよう」とふとした時に思い出せる詩だなど思いました。まちの子ども保育園での子ども達との出会いは他の保育園や幼稚園と比べるとほんの一瞬だと思うので、その一瞬一瞬を大切に子ども達と過ごそうと思います。

『困り感のある子どもの理解と保育士のかかわり』の方では、もっとじっくり何時間でも話を聞いたりまたは質問をしたりして知識をもっと深めたいなと思いました。現在、まちの子ども保育園での児童発達支援事業である「ぷりん」にも関わりのあるので、自閉症スペクトラム障害についても普通の保育園・幼稚園に勤めている方よりは理解していると思っていましたが、まだまだ話を聞いて知っていく事も多く、学ぶべき事がたくさんあるなと感じました。私に関わっている子どもの中にも気になる子がいるので、その子を頭に思い浮かべて聞いていました。こういう仕事を



しているからこそ気づく事もあると思います。いろんな子ども達を見て接する事で、一人ひとりの子ども達の行動に対する引出しをたくさん作って、今ま

では一つの事に対して一つの理由しか考えられなかった部分を二つ、三つと増やしていって、その子が何に困っているかを理解してあげられるようになっていこうと思います。

今回の研修は本当に参加して良かったです。

子育て奮闘中

事務局 森 由香

入社して一年が経ちました。事務局で主に経理を担当しています。

仕事と家事と育児の両立の難しさを日々感じながらも、職場や家族の理解と協力を得て、仕事を続けることができていることに感謝しています。

ふくしの家には、子育て奮闘中!のママが大勢おられます。これからもっともっと、お互いの状況を理解し、フォローしあいながら、働きやすい・働きたいのある職場環境が作れていたらと考えています。どうぞ宜しくお願いします。

子どもには大人とちがう物語がある
子どもには大人とちがう世界がある
そして子どもは毎日旅と冒険に出発する
何もかも面白くてしかたが無いから
(谷川俊太郎)



会の実績

訪問介護

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
介護輸送	1,450	1,362	1186	809	851	814
身体・生活	192	178	175	145	139	111

小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
開所日数	31	30	31	31	30	31
実利用人数	22	20	19	25	25	24

ふくしの家
活動実績
3月～5月

通所介護

住宅型有料老人ホーム

福祉有償運送

	まちのホームひかり				ケアホーム				ふくしの家		
	3月	4月	5月		3月	4月	5月		3月	4月	5月
開所日数	22	22	21	開所日数	31	30	31	実利用人数	8	8	8
延利用人数	189	202	198	実利用人数	23	24	23	延回数	60	57	45

障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)

ゆめくれよん+			
	3月	4月	5月
ボランティア派遣	23	0	15
パソコン教室	0	0	12
ボランティア養成	2	0	0
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	0
ふくしの家パソコン事業	32	10	17

子育て支援事業

まちの子ども保育園			
	3月	4月	5月
開所日数	24	25	23
児童発達支援	54	59	41
放課後等デイ	70	51	45
開所日数	29	30	31
一般保育	559	368	374
開所日数	-	25	23
小規模保育	-	82	65

特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
開所日数	24	24	21	25	23	23
利用人数	233	223	198	251	251	225

ささえあい(循誘地区)

	ふくしの家		
	3月	4月	5月
買い物	0	0	0
剪定	0	0	0



第2回九州地区移動支援
ネットワーク交流会の様子
(サンメッセ鳥栖会議室)

課題の多い移動サービス。高齢化に伴う住民向けの生活支援ニーズ調査では、どこの地域もトップにあがる大きな課題は「日常生活の足の確保」。はっきりわかっていることなのに、ここがなかなか進まないもどかしさ…。地域の移動の足を考える有志が、来年はもっと集まり何か発信できればと願います。

受講者募集中

次回

移動サービス認定運転者講習会

(国交省大臣認定)

10月31日(土)～11月1日(日)

お申込み受付いたします

☎ 0952-36-6865



会の動き

- 1日 まちの子ども保育園おめでとうの会
- 9日 民生委員会出席 (まちのホームひかり)
- 16日 地域ケア会議 講師派遣 / 千代田町役場 ふくしの家戦略会議
- 17日 佐宅連中部ブロック会議出席
- 18-19日 移動サービス認定運転者講習会開催
- 20日 大財第三区サロン訪問 (まちのホーム循環)
- 22日 鳥栖市地域共生ステーションとさくさん 鍋島事務局来訪
- 27日 地域共生ステーションたすけあい かせ開所式出席
- 29日 循環長寿会 講師派遣「これからの介護予防の考え方」



- 3日 古賀メロディー来訪 (まちのホーム医大前)
- 7日 佐賀県長寿社会課訪問
- 18日 大財三区サロン訪問 (まちのホーム循環) ふくしの家戦略会議
- 19日 佐宅連世話人会出席 在宅ネットさが 講師派遣
- 22日 さが移動ネット総会 ふくしの家ホームヘルプ運営会議
- 26日 循環地域ささえあい会議 (まちのホーム循環運営推進会議兼)
- 27日 循環校区児童民生委員会見学・23名 (まちのホーム循環)
- 28日 介護保険制度改正説明会出席



- 4日 第1層協議体体験フォーラム出席 / 教育会館
- 6日 第2回九州地区移動支援ネットワーク交流会 / サンメッセ鳥栖
- 9日 まちの子ども保育園スタッフ会議
- 10日 介護保険集団指導・訪問介護 / ハンギーホール
- 11日 介護保険集団指導・居宅介護・通所介護 / ドウイング三日月
- 12日 介護保険集団指導・小規模多機能 / 大和支所
- 14日 佐賀県宅老所連絡会総会出席
- 16日 佐宅連世話人会出席 ふくしの家戦略会議
- 18日 内部研修「ビジネスマナー」中尾朱実講師
- 20日 全国移動ネット理事会出席 / 横浜
- 21日 佐宅連総会出席
- 25日 ふくしの家理事会



傾聴ボランティア募集中

傾聴ボランティアに特別な資格はいりません。
お話をじっくり聴いて共感し、受け入れ、孤独や
不安を軽減させる手助けとなること。

週に1度、数時間、あなたの生き方にボランティア

という選択肢を是非加えてください。

ご連絡お待ちしております。

まちのホームひかり ☎41-8422(金子)

佐賀市保育幼稚園課の江島さんと梶原さんが7月28日にまちの子ども保育園を訪問されました。早速メールをくださったので紹介します。

「次世代を担う子どもたち、幼い健常児も、障害を持つ子どもも、そして、家庭状況の多様化で夜間預かりの子どももみんな含めて守っていただいている事に感謝いたしました。」

ありがとうございました!

今後子どもたちのために
頑張ってまいります。

(川副)



合同避難訓練 H27年6月13日

まちのホーム循環・グループホームじゅんゆう寮・ケアホーム東佐賀

2階のグループホーム利用者は絶対にエレベーターの使用は禁止であるため、西側の非常階段を使つての訓練を行いました。歩行に多少ふらつきがある方もいるので慌てず協力しながら避難を行わなければならない。



今回はB棟利用者20名の避難経路の確認及び初期消火から119番通報までを重点的に訓練を行いました。厨房が建物の中心部にある為、避難経路は玄関側だけでなく東西南北の非常口で出火地点より遠い所へ誘導する。車椅子利用者も半数近くいるため、スタッフの協力体制と近隣の方の応援が急務となります。B棟の避難訓練を行いながら、A棟1階・2階それぞれの避難誘導も同時に行つていかねばならない。

- ・人命を第一に考えた場合、少数の職員
- ・予め消火器の設置場所・取扱い方法を確認しておく
- ・避難経路及び利用者の誘導を把握しておく
- ・119番への通報は的確に行う
- ・(事業所名・住所・氏名・火災状況)
- ・利用者の生命を第一に考えた言動を行う
- ・予期せぬ自然災害にての火災も起こり得るため、あらゆる場面での想定に対応できる訓練が必要

【留意点】



(防火管理者 副島)

だけでは限りがあるため、出火初期段階に近隣の方の応援を要請することが大切と実感しました。

安全運転の徹底を!

鹿島署、介護事業所対象に交通安全教室

佐賀新聞より抜粋

- ◆嬉野市で5月、介護施設の送迎車が事故を起こし、乗っていた高齢者が死亡したことを受け、鹿島署は8日、管内の介護事業所を対象に交通安全教室を開いた。在宅でデイサービスなどを利用する高齢者が増える中、普通免許しか持たない介護スタッフが送迎に当たるケースも多く、安全運転の徹底と、施設側のリスク管理の意識を高めた。
- ◆43事業所から52人が出席。講演したNPO法人市民生活支援センター「ふくしの家」(佐賀市)の江口陽介理事長は、全国的に送迎中の事故が増えているとして、「感染や虐待など施設内のリスクには敏感だが、死亡事故に直結する送迎時の危機意識は乏しい」と指摘。施設側で運転技術や車両の特長を学ぶ研修の機会を設けるよう訴えた。
- ◆参加した宅老所の女性スタッフ(45)は「職場で送迎のリスクを話し合うことが必要だと実感した。まずは自分の運転から振り返りたい」と話した。
- ◆事故は5月28日朝、嬉野市塩田町で、利用者を送迎していた鹿島市の介護施設の乗用車が民家のブロック塀に衝突、嬉野市内の82歳女性が死亡した。

佐賀県は昨年、人口10万人あたりの人身事故発生件数、交通事故死者数と負傷者数の3項目で全国ワーストを記録。山口知事は「県民総出でワーストを脱却する」と力を込め、今林本部長は「交通事故多発路線での取り締まりの徹底や実態の把握に努めるとともに、夏休みも近づいているので子どもたちへの交通安全などの対策も進めていく」と話した。

佐賀県の交通事故件数が全国的にワーストだなんて、知らなかった… 皆さん、初心にかえて安全運転の徹底を!

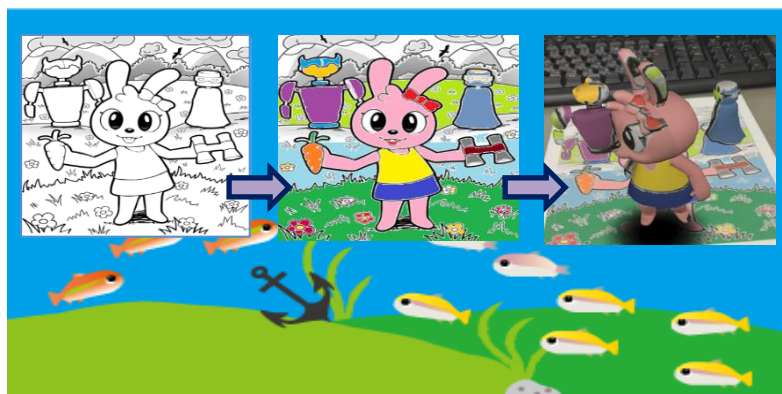
事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-37-5102
- まちのホーム循環【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-28-4286
- ふくしの家ホームヘルプサービス【訪問介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-41-9200
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】・日常生活支援ルームぷりん【児童発達支援・放課後等デイサービス】
託児所しゅーくりーむ【佐賀県認証保育施設】
佐賀市大財6丁目4番4-66号/電話0952-22-3744
- まちのホームひかり【通所介護】
佐賀市光一丁目9番17号/電話0952-41-8422
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンターゆめくれよん+【佐賀県委託事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー1F/電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局
さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局 / 佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジクラブ」/電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」/電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】/総合福祉ビルハーモニー窓口
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F/電話0952-36-6113



パソコンを活用してイキイキライフ!!

佐賀県障害者 ICT サポートセンターゆめくれよん+では ICT の楽しい活用をご紹介します。



みなさん! iPad を活用していますか?
動画を見たり、カメラを使ったり、SNS や
ゲームも楽しいですよ!
もっともっと楽しく活用しませんか?
こちらはぬりえをして iPad をかざすと・・・
なんとなんと、絵が立体で動きだすアプリです!
上手に塗るときれいですね!

はじめよう! 8月号

【編集/印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家
〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島 3 丁目3-20 鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F



TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895
E-mail fukusinoie@world.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>
【発行】 九州障害者定期刊行物協会 〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18
TEL (092) 292-4311 FAX (092) 292-4312 [定価 100 円]

【購読料は会費等を含む】

※身障第三種郵便の会報以外に、普通郵便扱いで行政、関係福祉団体、市民向けに広報誌としても送付しています。